



中国絵画の歴史と福建、

そして
孫億
SON OKU

—琉球絵師たちの留学先—

2026.

1.17 土

14:00～16:00
(開場 13:30)

入場無料

講師 植松 瑞希 氏 (東京国立博物館研究員)

会場 沖縄県立博物館・美術館
3F講堂

受付 当日先着 (定員 200名)

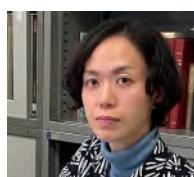
お問合せ 098-941-8200

〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

主催 沖縄県立博物館・美術館

近世琉球の絵師たちは、中国の福建地方へ留学し、そこで学びを活かして、個性豊かな琉球絵画様式を作り上げました。17～18世紀に福建で活躍した孫億は、彼らの師としてよく知られた人物です。では、そもそも中国絵画の歴史全体において、福建はどのような地域と理解され、孫億の画業はどのように位置づけられるのでしょうか。中国絵画史の世界への案内とともに、琉球絵師たちの留学先の魅力にも迫ります。

【キーワード】 #琉球絵画 #中国絵画 #孫億 #福建省



【講師】植松 瑞希 (うえまつ みづき) 東京国立博物館研究員

1982年東京都生まれ。2011年東京大学博士課程単位取得退学。大学で中国絵画史を学ぶ。大和文華館（奈良県）学芸員を経て、2016年より現職。中国、朝鮮絵画作品担当として、所蔵品の展示活用・蒐集保存・調査研究に従事。専門は、明・清時代の文人絵画。

※駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。
※席数に限りがありますので、ご入場いただけない場合があります。
※会場内は空調の影響で寒くなる場合があります。

あなたの沖縄に出会う

沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

【開館時間】9:00-18:00 (金・土は 20:00まで)

【休館日】月曜日 (月曜祝日の場合は翌平日休館)